

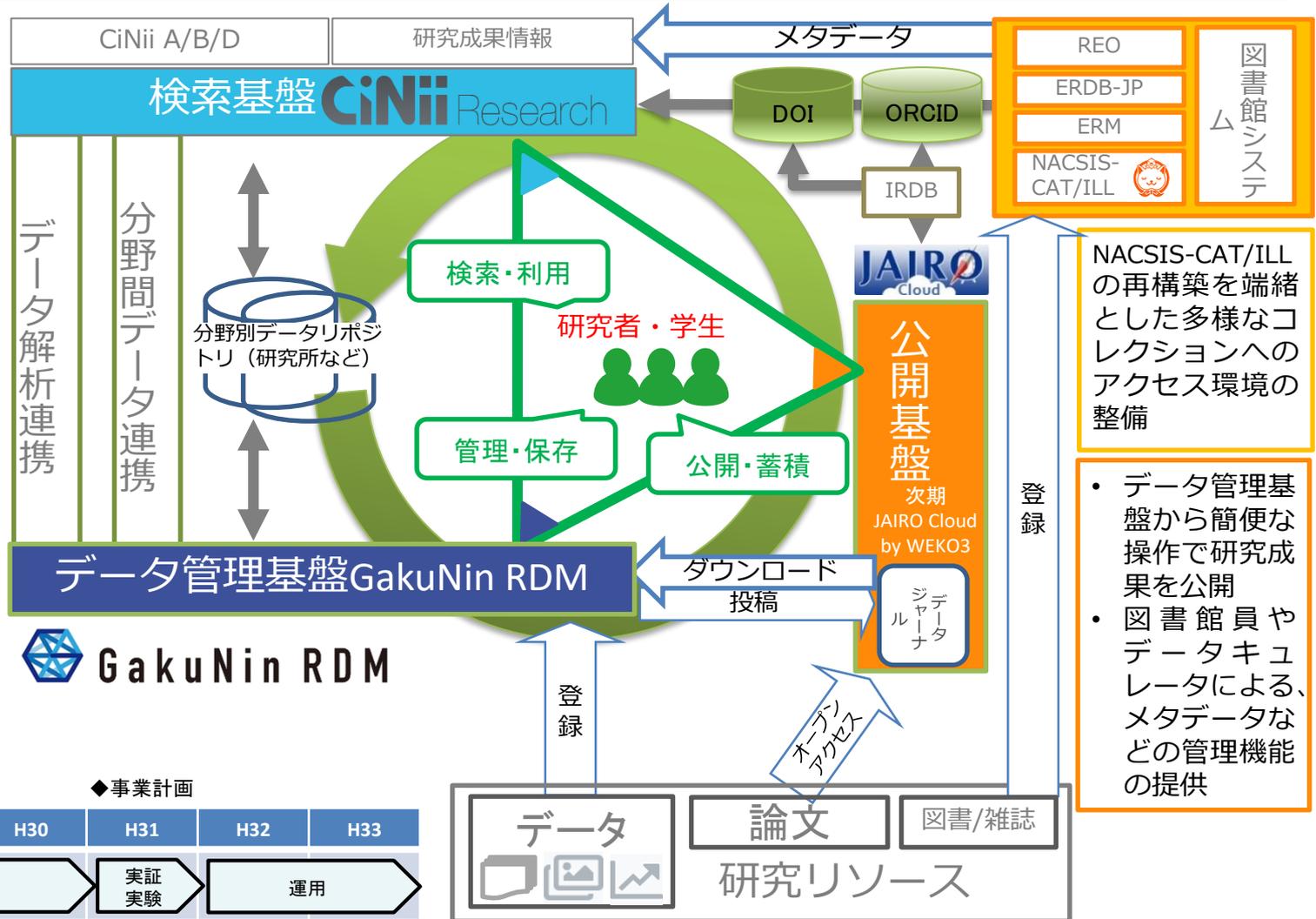
NII学術情報基盤ミーティング2018

CiNii、JAIRO Cloud、CAT2020 等アップデート

今後の学術コンテンツ事業

大学・大学図書館等と連携しながら、研究データを含む、多様な学術コンテンツを確保し、整備し、提供する事業を展開

- 機関リポジトリ + 分野別リポジトリやデータリポジトリと連携
 - 研究者や所属機関、研究プロジェクトの情報と関連付けた知識ベースを形成
 - 発見のプロセスをサポート
-
- データ収集装置や解析用計算機とも連携
 - 研究遂行中の研究データなどを共同研究者間やラボ内で共有・管理
 - 組織が提供するストレージに接続が可能

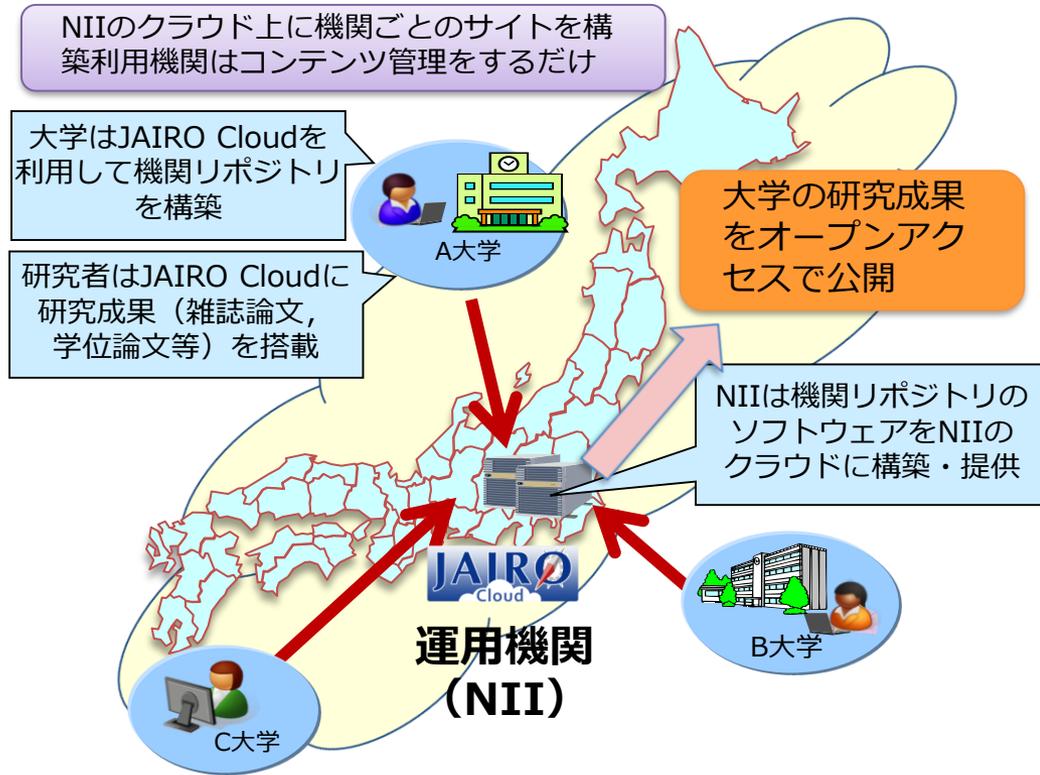


- NACSIS-CAT/ILLの再構築を端緒とした多様なコレクションへのアクセス環境の整備
- データ管理基盤から簡便な操作で研究成果を公開
- 図書館員やデータキュレータによる、メタデータなどの管理機能の提供

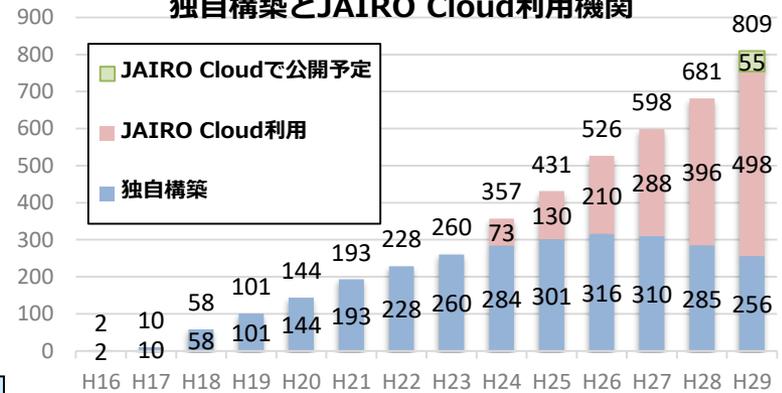
共用リポジトリサービス (JAIRO Cloud)

機関リポジトリのクラウドサービス(H24年度～)

- 独自で機関リポジトリの構築・運用が難しい大学等に、研究成果の収集・保存・発信を容易にする仕組みを提供
 - 大学での**システム運用負荷の軽減**により機関リポジトリ数の拡大
 - 必要な機能を備えたシステムをクラウド上で提供することで**全体の効率化**
 - 学術情報の**オープンアクセス**を推進



日本の機関リポジトリ構築数
独自構築とJAIRO Cloud利用機関



| 開始年度 | 計 | JAIRO Cloud利用機関 内訳 | | | | |
|-------|-----|--------------------|----|-----|----|-----|
| | | 国立 | 公立 | 私立 | 短期 | その他 |
| 2012 | 73 | 1 | 5 | 50 | 12 | 5 |
| 2013 | 57 | 1 | 6 | 46 | 4 | 0 |
| 2014 | 80 | 3 | 14 | 49 | 8 | 6 |
| 2015 | 78 | 8 | 8 | 46 | 9 | 7 |
| 2016 | 108 | 12 | 5 | 52 | 31 | 8 |
| 2017 | 102 | 9 | 8 | 59 | 21 | 5 |
| 計 | 498 | 34 | 46 | 302 | 85 | 31 |
| JC構築中 | 55 | 6 | 3 | 25 | 14 | 7 |

次期の共用リポジトリサービス (JAIRO Cloud) NII

NIIが開発・提供する機関リポジトリのクラウドサービス(H32年度～)

- 従来のメタデータに加え研究データを含めた研究成果の収集・保存・発信を容易にする仕組みを提供
 - 研究データ管理基盤との連携により研究者が容易に研究データや関連資料を公開
 - 研究データやデジタルアーカイブなどの大容量のデータ登録が可能
 - 特定分野に応じたメタデータ出力（コレクション）が可能

現行JAIRO Cloudと次期JAIRO Cloudの比較

| | 現行JAIRO Cloud | 次期JAIRO Cloud |
|---------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| リポジトリの役割 | 文献リポジトリ（文書中心） | 文献リポジトリ（文書） データリポジトリ（研究データ等） |
| システム・アーキテクチャ | WEKO2(NetCommons2 +WEKOモジュール) | WEKO3(Invenio 3 +WEKO3モジュール) |
| システムのスケーラビリティ | × | ○ |
| メタデータ形式 | junii2 | JPCOARスキーマ |
| 大容量データ対応（研究データ、デジタルアーカイブ） | × | ○ |
| セルフアーカイブ機能 | △ | ○ |
| 公開ワークフロー機能のカスタマイズ | × | ○ |
| コレクション機能（デジタルアーカイブ） | × | ○ |
| API連携 | △ | ○ |

開発中の画面イメージ

検索結果 **アイテム一覧表示** 1 - 12 of 12 results.

表示順: Create date | asc | 表示数: 20

Linked Open Dataのグラフ構造特徴量を用いたエンティティ同定

Linked Open Dataのグラフ構造特徴量を用いたエンティティ同定 [Show source](#)

名前 / ファイル

stg1-demo

sha256 6f8696ecb6afd11e993ac0edbe420c916f8ee5bae20c62aebc63514344c93657

プレビュー **プレビュー機能**

stg1-demo.zip

| 名前 / ファイル | ライセンス |
|--|-----------------------|
| stg1-demo | |
| stg1-demo (4.7 MB) [0 downloads] | Creative Commons : 表示 |
| stg1-demo | |
| data | |
| fumi-dbpedia-japanese-usecases-8eefaea | |
| LICENSE | 18.7 kB |
| README.md | 341 Bytes |
| VERSION | 6 Bytes |
| data | |
| Chart.ipynb | 2.1 kB |
| application.tsv | 4.4 kB |
| dataset.tsv | 5.4 kB |
| ipaexg.ttf | 6.1 MB |
| research.tsv | 15.6 kB |
| documentations | |
| materials | |
| WEKO3 | |
| P2-2.pdf | 457.9 kB |
| weko3demov1.pptx | 55.8 kB |
| others | |
| CINii-Research_looo.300x300.ico | 4.5 kB |

Drop files or folders here

-- OR --

[Click to select](#)

表示名

表示形式

ライセンス

[刷新チェック](#)

アクセス

- オープンアクセス
- オープンアクセス日を指定する
- ログインユーザのみ
- 公開しない

[+ New](#)

required

タイトル

タイトル(英)

言語

公開日

キーワード

required

キーワード

アイテム登録

移行スケジュール (案)

| 2018年度 | 2019年度 | | | | 2020年度 | 備考 | |
|--------|---------------------------------|-----------------|----|---|--------|-------|---------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 1 | | |
| 開発 | → | | | | | | |
| | 次期JCテスト 移行ツールテスト、 移行試験を含む | | | | | 数機関程度 | |
| | | 次期JCバグ フィックス | | | | | |
| | | | 移行 | | | | 500機関程度 |
| | | 移行説明会 | | | | | |

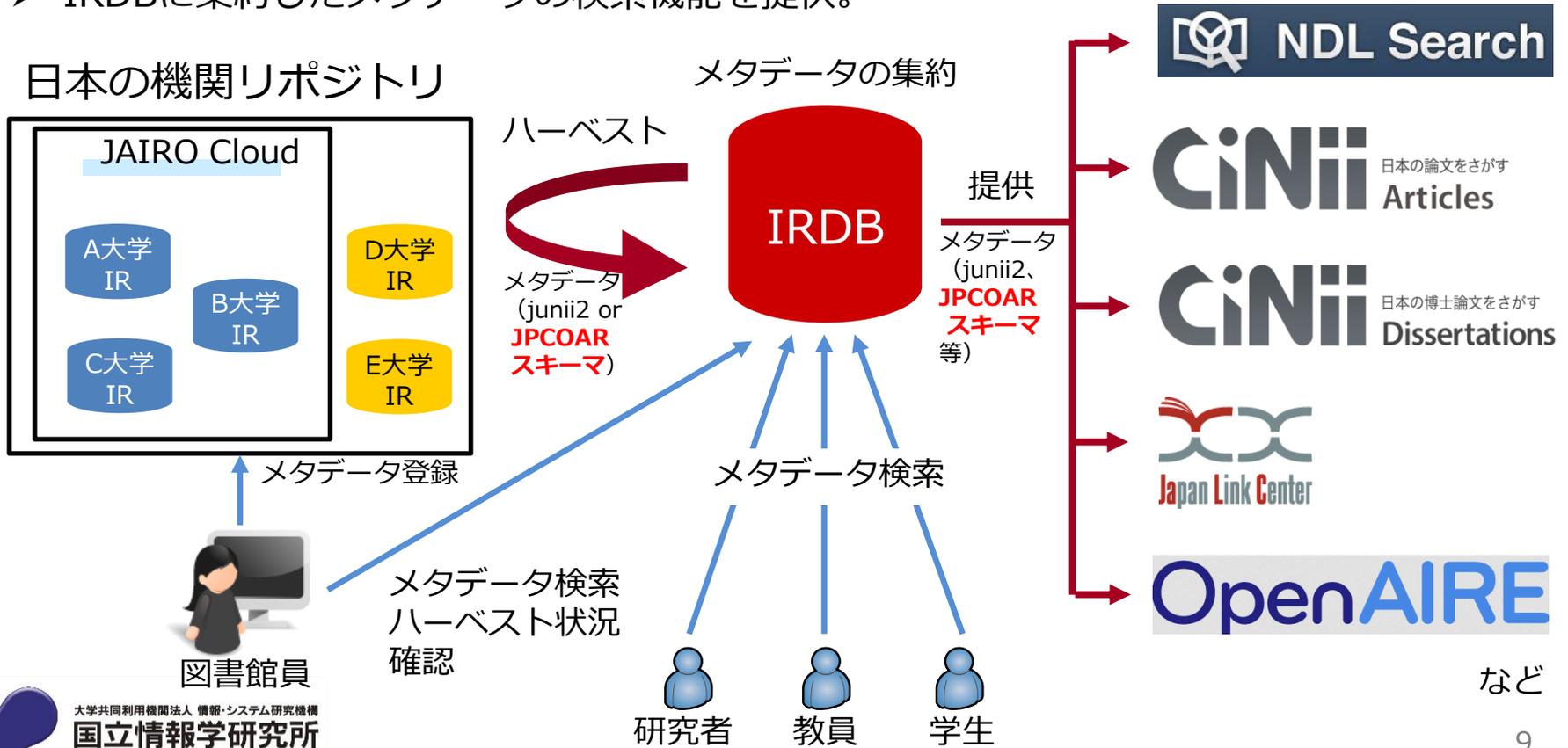
1. 2018年中頃：移行スケジュール (概要) 公表
2. 2019年1月頃：実験参加機関の選定
3. 2020年1月頃：機関ごとの移行スケジュール通知
4. 2019年度第2-3四半期：移行説明会の開催

※JC・・・JAIRO Cloud

学術機関リポジトリデータベース (IRDB)

NIIが開発する学術機関リポジトリデータベースサービス

- 新IRDBは試験運用中。H31.4にリプレース予定。
- 日本の機関リポジトリのメタデータをハーベスト（収集）し、国内外のコンテンツサービスにメタデータを提供。
- 2017年10月に策定されたJPCOARスキーマに対応することにより、質の高いメタデータを収集、提供が可能。
- 機関リポジトリを運用している業務担当者向けにハーベストに関する情報を提供。
- IRDBに集約したメタデータの検索機能を提供。



新IRDBへの移行スケジュール（予定）

2018年

2019年

| | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|--------------------|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|
| 開発 | → | | | | | → | | | | | | | | |
| IRDB移行 アナウンス | | | | | | | | | | | | | | |
| 新規ハーベスト | | → | → | → | | | | | | | | | | |
| ハーベスト結果の 分析 | | | → | → | → | | | | | | | | | |
| 新規の 再ハーベスト | | | | | | → | | | | | | | | |
| レポート送付 | | | | | | → | | | | | | | | |
| データ修正 | | | | | | → | → | → | | | | | | |
| 定期ハーベスト | | | | | | | | → | → | → | → | → | → | → |
| 外部データ提供先 機関との調整 | | | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → |
| システム切替 | | | | | | | | | → | → | → | → | → | → |

→ 現行IRDBと並行稼働で定期ハーベスト

※NIIにおける予定

現行IRDBを終了し、
新IRDBに切替

CiNii Research

CiNii

検索 ログイン

すべて 論文 本 博士論文 プロジェクト 研究データ 人物
詳細検索

社会ネットワークの関係構造を利用した情報源の信頼性評価に関する研究

KAKENでこの研究をみる >

大向 一輝

このプロジェクトの論文

- Community Webプラットフォームのユーザエクスペリエンス
- スケジュール情報を介したユーザ間の情報流通支援
- 役員の職歴を用いた企業間ネットワークの定量分析
- SNSの現在と展望-コミュニケーションツールから情報流通の基盤へ-
- Web2.0と集合知

このプロジェクトの著書

- ウェブがわかる本

CiNii

検索

すべて 論文 本 博士論文 研究 研究データ 人物
詳細検索

NTCIRテストコレクション MATH / MathIR NTCIR-10 MATH タスク

NTCIR Creative Commons

NTCIR

この研究データに紐づく研究・論文

創造的情報創出のためのナレッジインタラクションデザイン
 中小路 久美代, 山本 恭裕 MUS, 1993-12-10
 ... They also may see visualized information of other user's play, and computer graphics reacting to the play.
 ... In our **experience**, 3 users were actually able to play an ensemble. ...

情報処理学会 研究データあり 被引用文献15件 査読あり

メンタルモデルの骨組みの解明とそれに基づくメンタルモデル設計手法の構築
 山岡 俊樹 和歌山大学, 2014-05-30 - 2019-03-31
 ... They also may see visualized information of other user's play, and computer graphics reacting to the play.
 ... In our **experience**, 3 users were actually able to play an ensemble. ...

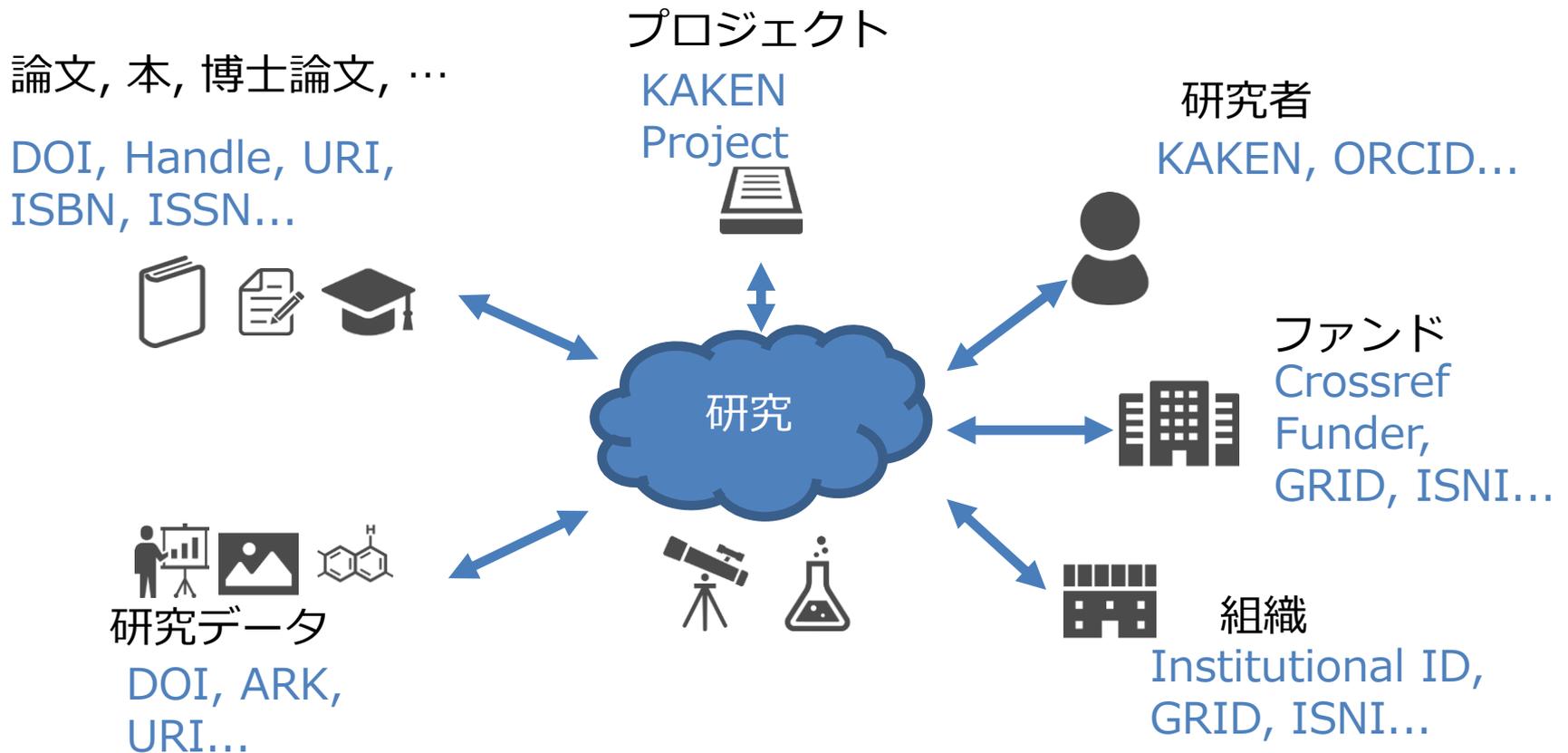
研究データあり

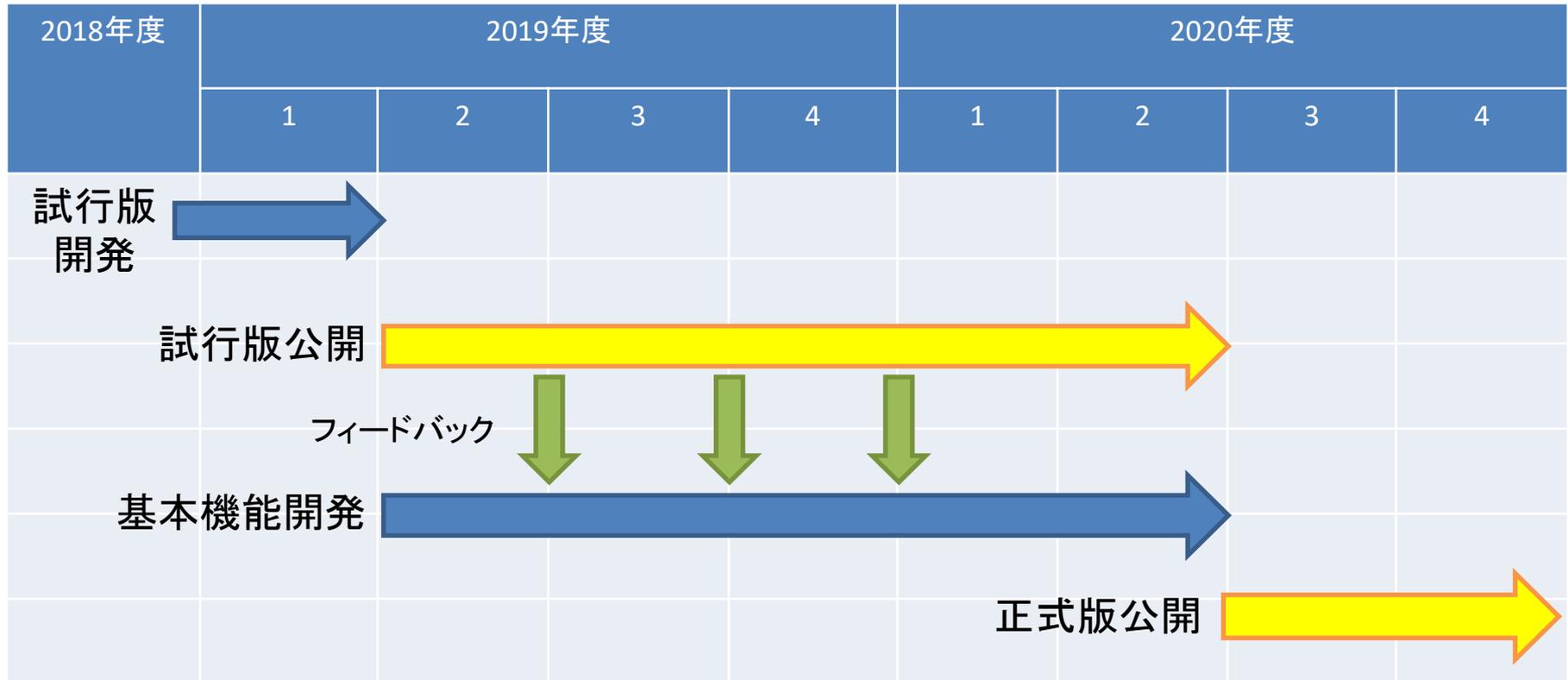
被引用文献 (54)

創造的情報創出のためのナレッジインタラクションデザイン
 中小路 久美代, 山本 恭裕 MUS, 1993-12-10
 ... They also may see visualized information of other user's play, and computer graphics reacting to the play.
 ... In our **experience**, 3 users were actually able to play an ensemble. ...

オープンアクセス 情報処理学会 被引用文献15件

研究成果発表
一般公開
国立情報学研究所
オープンハウス
2017
6月9日(金)▶10日(土)



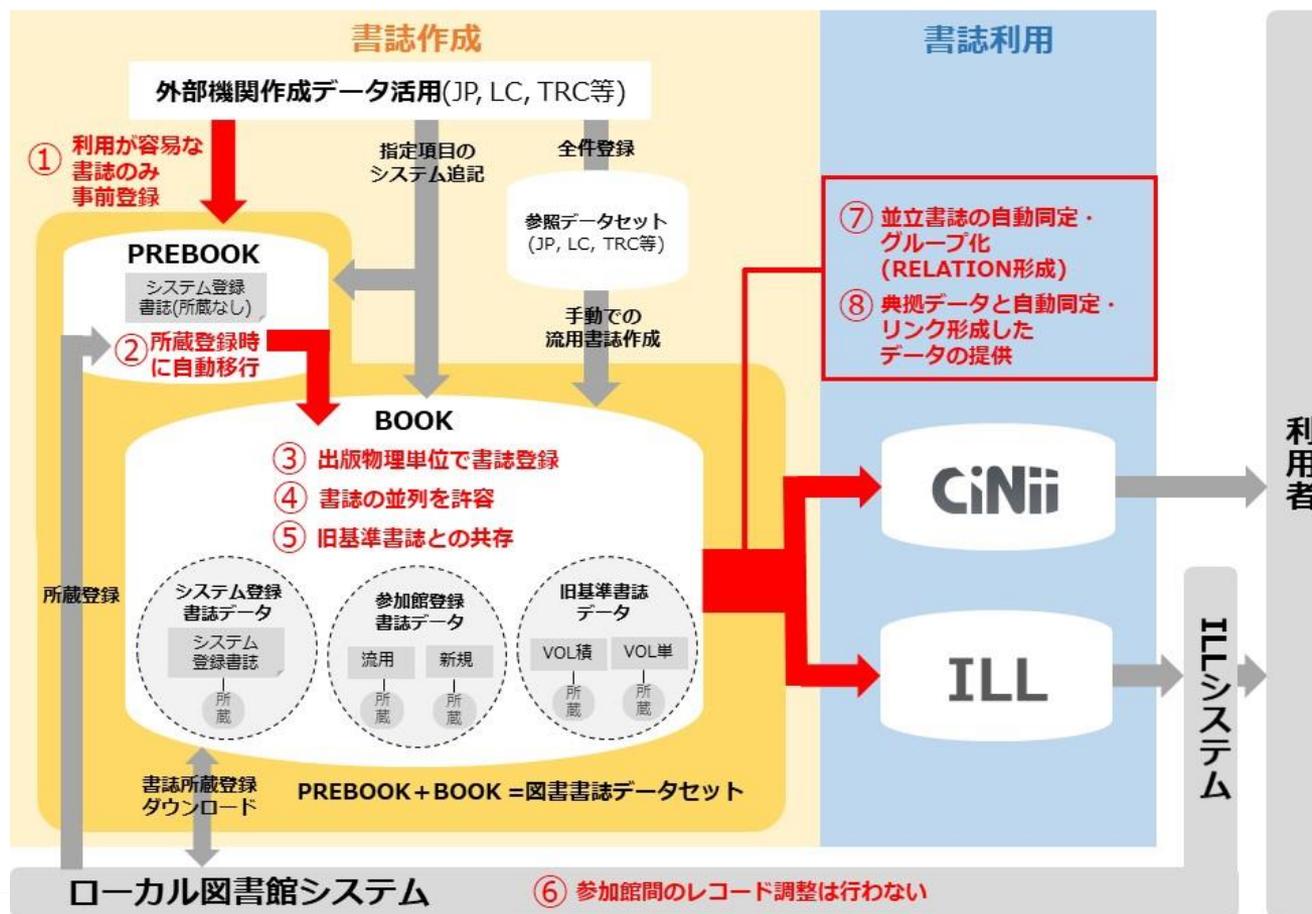


2020年以降の目録所在情報システム

2020年以降の目録所在情報システム (CAT2020) NII

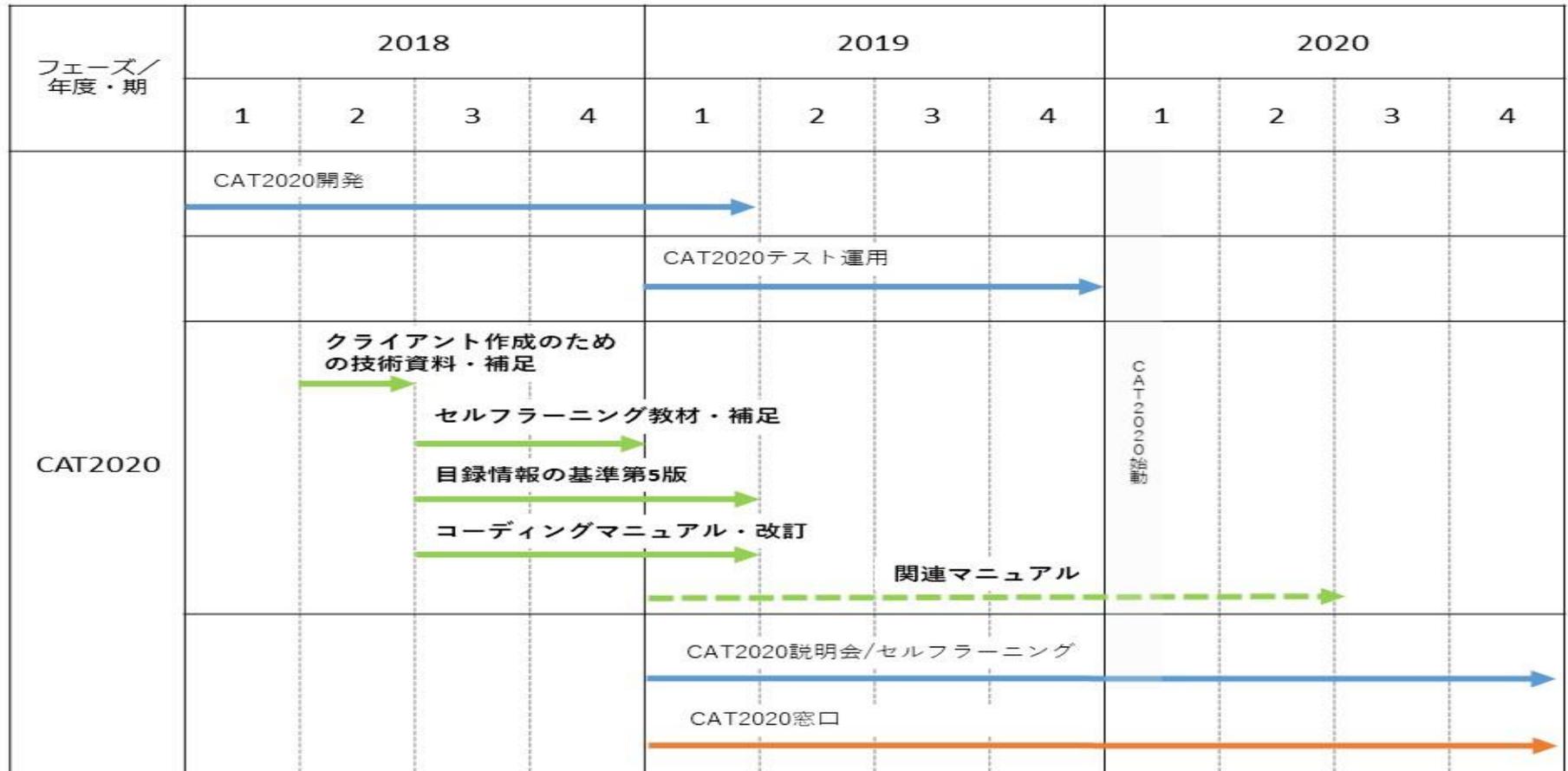
これからの学術情報システム構築検討委員会「NACSIS-CAT/ILLの合理化・軽量化について (最終まとめ)」を、2018年10月に公開
 2020年第一四半期に「2020年以降の目録所在情報システム (CAT2020)」として正式運用予定

NACSIS-CAT/ILL新基準適用後の8つのポイント



2020年以降の目録所在情報システム（CAT2020）NII

- 2019年度にCAT2020のテスト運用を実施
- 目録担当者が参照する主要なドキュメントをCAT2020の内容に沿って改訂を行い、CAT2020テスト運用にあわせた公開を予定



RDM人材育成 トレーニングコース

教材（第一弾）

RDMトレーニングツール

2017年6月6日にスライドとスクリプト（説明の文章）をCC BYで公開

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000023/>

The screenshot shows the WEKO (Worldwide Electronic Knowledge Organization) interface. At the top, there are navigation buttons for '概要 (About)', '組織 (Organization)', '参加機関 (Members)', and '参加申込 (Join us)'. Below these are buttons for 'JAIRO Cloud とは? (What is "JAIRO Cloud"?)', '規程類 (Rules)', '会議資料 (Minutes)', '事業計画 事業報告 (Project)', and '各種資料 (Publication)'. The main content area displays a list of items under the heading 'RDMトレーニングツール'. Each item includes a file name, a license icon (Creative Commons BY), and download statistics. The items are: RDMトレーニングツール(スクリプト入)_1章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_2章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_3章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_4章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_5章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_6章, RDMトレーニングツール(スクリプト入)_7章, and RDMトレーニングツールスクリプト. The interface also includes a search bar, a language selector (set to Japanese), and a sidebar with navigation options like 'インデックスツリー' and 'タスクフォース'.

「オープンサイエンス時代の研究データ管理」

- オンライン講座 <https://www.nii.ac.jp/service/jmooc/rdm/>
 - JMOOCの公認プラットフォーム「gacco」で開講
 - 2017年11月15日～2018年1月15日
- 内容
 - 第1週：研究データ管理とは
 - 第2週：保存・共有・文書化
 - 第3週：メタデータ・法倫理的問題
 - 第4週：運用に向けて
- NIIがJPCOARの協力を得て制作



| | 受講者数 | ディスカッション スレッド数 | 修了率 |
|---------------------|-------|-------------------|-----|
| オープンサイエンス時代の研究データ管理 | 2,305 | 13 | 25% |
| gacco講座平均 (昨年平均) | 4,145 | 73 | 15% |

- 教養や話題性の高い内容の講座が多いなかで、当初は800人前後の受講者数を見込んでいたが、**予想を大きく上回り2,305名**の受講者が登録
- MOOCの修了率は世界的に10%台であるなか、**非常に高い修了率**で講座を修了

「研究データ管理サービスの設計と実践」 教材（第二弾）

- 研究支援者（図書館員、研究支援職員（URA）、技術スタッフ等）のための教材
- 研究プロセス（研究前、研究中、研究後）に沿って、具体的なサービスの設計と実践を学習
- NIIが開発中の新オンライン学習プラットフォーム（学認LMS）から公開

| 章 | 内容 |
|------------|--|
| 第1章：序論 | <p>研究データ管理に関する基礎的な知識を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究データ管理とは何か、研究データ管理の重要性が増している背景、研究データ管理サービスとは何か |
| 第2章：サービス設計 | <p>自機関の実情に合ったサービスを設計するために必要なことを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織づくりや機関としての戦略やポリシーの立案、Data Asset Framework（データ資産フレームワーク）の活用法 |
| 第3章：研究前の支援 | <p>研究者が研究を開始する前段階で、どのような支援が求められているかについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究者が遵守すべきポリシーとは何か、研究資金配分機関等が求めるDMP（データ管理計画）の作成支援 |
| 第4章：研究中の支援 | <p>研究者が研究を実施している最中に求められる支援について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究データの種類とセキュリティポリシーの関係、データの保存と機関の役割、利用可能なデータの発見方法、データの分析や可視化の支援方法、論文発表の際に必要なとされるデータの取扱い、データ管理計画の見直し |
| 第5章：研究後の支援 | <p>研究終了後に、得られたデータを公開することについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> データの公開前に確認すべきこと、データの公開場所としてのデータリポジトリの選定、公開するデータに付与すべきメタデータ、識別子、ライセンスなど |
| 第6章：日常的な支援 | <p>日常的な研究データ管理サービスについて学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修の実施方法、ポータルサイトの構築と提供すべき情報、窓口業務の実施体制、広報のための資料作成やアドボカシー活動の展開方法 |